

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成31年4月8日（月）～平成31年4月14日（日）〔平成31年第15週〕の感染症発生状況

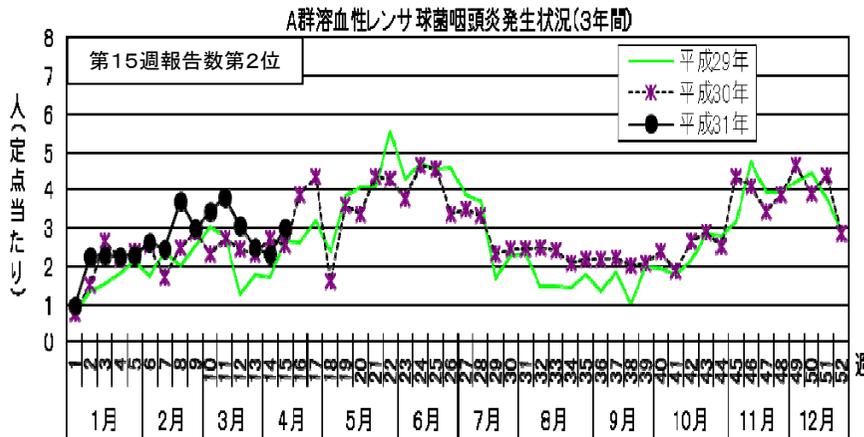
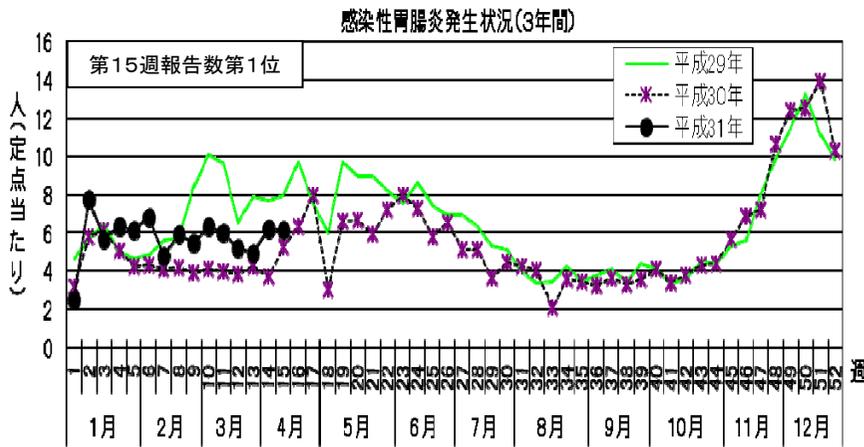
第15週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) インフルエンザでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.14人と前週（6.22人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.97人と前週（2.32人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は1.66人と前週（0.77人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

★インフルエンザウイルス★
インフルくん

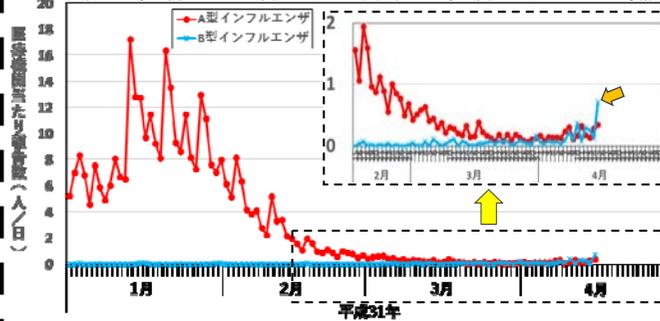


今シーズン2度目の流行期～インフルエンザ～

川崎市におけるインフルエンザの流行は、平成31年第12週（3月18日～3月24日）以降、流行の目安である定点当たり1.00人を下回り、非流行期となっていました。第15週（4月8日～4月14日）に定点当たり患者報告数が1.66人となり、再び流行期となりました。

本市のリアルタイムサーベイランスによると、4月上旬からB型インフルエンザの報告数が地域的に増加し、麻生区の小学校ではB型インフルエンザによる学級閉鎖も報告されています。4月ではありますが、引き続き手洗いや咳エチケットなどの予防対策を心がけましょう。

川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)
リアルタイムサーベイランス(A型・B型インフルエンザ発生状況)
—平成31年1月1日～4月15日— (平成31年4月16日13:00時点)



川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)
インフルエンザリアルタイムサーベイランス地図情報

